

2024(令和 6)年度

募 集 要 項

大学院歯学研究科

博士課程 入学試験

鶴見大学大学院歯学研究科教育方針

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

歯学研究科博士課程では、感謝と慈愛の心を持つとともに、高度にして専門的な歯科医学の深奥を究めた、歯科医学研究における指導力を発揮できる研究者を養成することを目標としています。そのために以下のような人を歓迎します。

1. 自然科学に強い好奇心を持ち、高度な専門知識を習得することが可能な基礎学力を持つ人。
2. 国内外を問わず他者との議論を交わし、かつ協力できるコミュニケーション力を持つ人。
3. 既成概念にとらわれることなく自ら新しい分野を開拓できる、積極的かつ柔軟な思考を持つ人。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

歯学研究科博士課程では、高度な専門研究及び専門諸分野の科学的成果に立脚する学際的総合研究を行うために必要な創造的能力を有し、研究者として自立して研究活動を行い、将来高度かつ専門的な業務に従事するために必要な高度な研究遂行能力とその基礎となる豊かな学識を有する人材を養成するために、以下の教育課程を編成し、実施しています。

1. 専門教育

優れた研究能力等を備え、高度な専門性を必要とする臨床歯科医の業務に必要な診断・検査技術、治療法、態度を修得するための科目を専攻別に策定し、研究活動に必要な基礎知識、技能知識を習得するための科目として歯学特論を配置している。また、歯科医学研究分野において、研究者として自立し指導的役割を担うに十分な能力を身につけるために、専攻分野別に必修科目及び選択科目を配置している。

2. 研究指導

研究者として自立するためには、研究課題の設定、研究計画の立案、研究の実施・遂行及び研究成果の発表を必要とする。そのため、独創性と先端性に優れた高度な研究実施能力、研究の妥当性に対する判断力、発表能力等を育成する。そのためにマンツーマンの先進的並びに質の高い研究指導を行う。

ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）

歯学研究科博士課程では、禅の精神を基に自他を正しく認識し、感謝と慈愛の心を持つとともに、高度にして専門的な歯科医学の深奥を究め、その応用によって医療を通じて社会に貢献できる有能な研究者に対して学位を授与します。所定の単位数を修め、教育理念と目的に沿った研究指導を受け、修業年限内に博士論文の審査及び最終試験に合格し、大学院歯学研究科委員会で可とされた場合において、博士（歯学）を授与します。

1. 所定の単位数を履修することにより、専門的な知識を習得することに加えて、科学的手法を用いて行った研究結果を適切に考察することによりまとめた論文を提出し、審査に合格した者に学位取得を認める。
2. 研究経過報告を行い、学位論文には研究の独創性・発展性、論文構成・論理展開の妥当性、研究倫理の自覚と遵守のそれぞれの点について、十分な水準に達することが求められる。
3. 歯科医学分野において研究者として自立でき、また指導的役割を担いうる能力を身につけていることが課程修了に必要なものである。

※入学試験に関する個人情報の取扱いについて

本学研究科では、入学試験志願票に記載いただいた本人氏名・連絡先及び保証人氏名・連絡先等に関する情報、また、成績等の個人情報は厳重に取扱い、入学者選抜以外の目的に無断で使用することはありません。

歯学研究科の概要

1. 目的

本研究科は、本学の建学の精神を体して、学部における教育の基礎の上に高度な歯科医学研究を教授し独創的な研究を推進するための研究者並びに、全人的医療に貢献する歯科医療人を養成するとともに、本学の教育、研究、診療をになう教育者を育成することを目的として、1977(昭和 52)年 4 月に開設されました。

なお、2010(平成 22)年度より地域社会のニーズに応え、歯科医師として医業に従事する者にも大学院修了の道を開くべく、大学院設置基準第 14 条に定める教育法の特例を導入し、昼夜開講制を実施しています。

2. 修業年限

博士課程 標準修業年限 4 年

3. 教育方法並びに課程修了の要件および学位授与

- (1) 通常の授業時間帯は、第 1 時限～第 4 時限(9:00～16:10)を中心としますが、昼夜開講制による学生の夜間の授業時間帯は、第 5 時限～第 6 時限(17:00～20:20)を中心とします。
また、土・日曜日、夏季休暇期間等を利用しての集中講義など、受講の利便性に配慮した授業計画を策定します。
- (2) 本研究科に 4 年以上在学し、30 単位以上を修得し、さらに必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査に合格し、かつ、最終試験に合格しなければなりません。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3 年以上在学すれば足りるものとします。
- (3) 上記所定の課程を修了した者には、「博士(歯学)」の学位を授与します。

4. 専攻学科目、責任教員および主な研究内容（2023年度）

専攻名	学 科 目	責任教員	主な研究内容
歯 学 専 攻	解剖学	准教授 塩崎一成	歯科臨床で重要な肉眼解剖学的研究 ACP 相転換を用いた硬組織再生についての基礎研究 関節炎の炎症メカニズムに関する基礎研究 唾液腺における細胞活性にかんする基礎研究 体内異所性石灰化に関する基礎研究
	生理学	教 授 奥村 敏	歯周病マウスモデルを作成して歯周病と全身性疾患、特に循環器疾患の発症過程を分子レベルで解明する。 咬合異常マウスモデルを作成して咬合異常と全身性疾患、特に循環器疾患の発症過程を分子レベルで解明する。 咬筋の肥大ならびに委縮のメカニズムを細胞レベルならびに個体レベルで解明する。
	分子生化学	教 授 山越康雄	エナメル質の形成とエナメルタンパクの構造・機能について セメント質の特異的タンパク質の究明 歯根膜の非コラーゲン性タンパクについて 歯周病における歯根膜の破壊機構について 歯周組織再生誘導因子とそのシグナル伝達機構 硬組織の分化誘導因子とそのシグナル伝達機構
	病理学	教 授 松本直行	唾液腺の機能、病態形成の機序ならびに再生機構の解明 自己免疫疾患の病因解析と治療法の開発 抗加齢医学の確立 EB ウイルス再活性化の分子機構の解明 細胞老化現象に着目した疾患成立機序の解明 唾液を検体としたサリバリーダイアグノスティクスの確立
	口腔微生物学	教 授 大島朋子	疾患と口腔微生物叢の関係の解明（国立研究開発法人医薬基盤研との共同研究） プロバイオティクスによる口腔疾患予防法の確立に関する研究（大阪大学・神戸大学との共同研究） 全身疾患・ストレスの唾液バイオマーカーの探索（東京医大との共同研究） 口腔常在真菌 <i>Candida</i> の疫学的・分子生物学的研究（シンガポール国立大学との共同研究） 新規感染予防法の開発と評価（大阪大学との共同研究）
	薬理学	教 授 二藤 彰	骨・軟骨の細胞分化・決定機構 網羅的解析法を用いた硬組織形成に関与する遺伝子の同定とその機能解析 腱・靱帯の発生・維持機構 硬組織のエピジェネティック制御機構
	歯科理工学	准教授 野本理恵	歯科用インプラント材料の表面改質 硬組織再建材料の開発 再生医療のための足場材料の開発 補綴物・修復物に対する非破壊検査法の応用 歯質に対する接着 充填用材料の物理的・力学的性質の研究
	保存修復学	教 授 山本雄嗣	レジン接着システムの基礎・臨床的研究 MI に基づく歯冠修復法の基礎・臨床的研究 歯の変色・漂白に関する基礎・臨床的研究 接着性歯冠修復材料のバイオメカニクス 歯の再石灰化にむけた無機材料の開発 抗菌性バイオセラミックスの評価

専攻名	学 科 目	責任教員	主な研究内容
歯 学 専 攻	歯科矯正学	教 授 友成 博	不正咬合と口腔内細菌叢の関連 顎顔面形態と睡眠の質 矯正歯科治療による口腔機能の変化 矯正歯科治療による咀嚼筋の力学的性状の研究 新規矯正装置・材料の開発 顎顔面頭蓋硬組織代謝に関する研究 3D プリンターによる矯正装置の製作
	口腔顎顔面放射線・画像診断学	教 授 五十嵐千浪	口内法X線撮影に関する基礎的ならびに臨床的研究 歯科放射線防護、線量測定 パノラマX線撮影の基礎的ならびに臨床的研究 顎関節の画像診断 顎関節症の画像診断と臨床的研究 顎口腔領域の三次元的画像の基礎的ならびに臨床的研究 AI を用いた画像診断支援
	小児歯科学	教 授 朝田芳信	歯の形態形成に関与する遺伝子の特定 口腔疾病に対する分子遺伝学的アプローチ フッ素徐放性コート材による隣接面う蝕の進行抑制 エナメル質成熟過程のメカニズムに対する基礎的研究 小児の口腔機能に関する臨床研究 小窩裂溝充塞材によるう蝕予防の臨床研究
	歯科麻酔学	教 授 河原 博	歯科治療ストレスの高次脳機能への作用 歯科治療ストレスを軽減する新たな薬物療法の開発 体性感覚誘発電位（脳波）を利用した知覚麻痺診断法の開発 広範囲侵害抑制性調節（鎮痛機構）の解明 有病者歯科治療の全身管理
	法医歯学	准教授 勝村聖子	硬組織からの個人識別 画像解析による個体識別 ヒト DNA 多型の鑑定応用 死後画像診断による死因究明支援 医療事故の発生と防止

募 集 要 項

歯学研究科(博士課程)

1. 出願資格

次の（１）～（４）のいずれかに該当する者

- （１）大学（歯学又は医学の学部）を卒業した者及び 2024 年 3 月卒業見込みの者
- （２）外国において学校教育における 18 年の課程（最終課程は上記（１）の課程）を修了した者及び本学大学院入学の前年度に修了見込みの者
- （３）文部科学大臣の指定した者
- （４）その他本大学院において、大学（歯学又は医学の学部）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

上記（４）に該当する者とは以下の様な者を指します（例）。

- ア）修業年限 6 年の教育課程の大学を卒業した者及び本大学院入学の前年度に卒業見込みの者
- イ）修士課程を修了した者及び本大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ウ）修業年限 4 年の教育課程の大学を卒業した者で、2 年以上の研究歴があり、本大学院歯学研究科による審査を受け、修士に相当すると認められた者

○その他の資格で出願を希望する場合は、鶴見大学入試センターにお問い合わせください。

[注] 歯科医師・医師免許証の有無にかかわらず、歯科臨床系大学院を専攻することができます。

2. 募集人員

歯科基礎系・歯科臨床系 18 名（1 次募集・2 次募集の合計）

3. 専攻学科目

【歯科基礎系】

解剖学、生理学、分子生化学、病理学、口腔微生物学、薬理学、歯科理工学、法医歯学

【歯科臨床系】

保存修復学、歯内療法学、歯周病学、有床義歯補綴学、クラウンブリッジ補綴学、
口腔顎顔面外科学、口腔内科学、歯科矯正学、口腔顎顔面放射線・画像診断学、
小児歯科学、歯科麻酔学

4. 出願期間・試験日・試験場

期	出 願 期 間	選 考 日	試 験 場
1 次募集	2023 年 8 月 21 日(月)～ 8 月 29 日(火) ※8 月は平日のみ受付	2023 年 9 月 7 日 (木)	鶴 見 大 学
2 次募集	2024 年 1 月 17 日(水)～ 1 月 30 日(火)	2024 年 2 月 14 日 (水)	

出願済みの受験生が新型コロナウイルス感染症等に罹患し、やむを得ず受験ができない場合は試験当日 9:00 までに入試センターへご連絡ください。

受験機会確保の観点から、追試及び振替受験の対応について相談に応じます。

追試及び振替受験をする場合は、医療関係等による罹患の証明書が必要になります。(後日提出可)

ただし、日程の都合により一部対応できかねる入試もございます。

- ・ 出願書類受付時間：上記期間中の平日 9：00～16：00、土曜日 9：00～12：00
(日曜日を除きます。)

※8 月中の土曜日は全学休業日のため受付はいたしません。

- ・ 出願書類受付場所：入試センター（1 号館 1 階）

◎出願に際しては、必ず志望する講座・研究室の責任教員に予め照会のうえ、出願してください。

5. 出願書類

入学志願者は下記の書類を全て揃え、所定の出願期間及び受付時間中に、入試センターへ直接提出してください。出願に不備がないことを確認のうえ、出願を受理し受験票を発行します。

- (1) 入学試験志願票・履歴書（本研究科所定の用紙）
- (2) 出身大学の成績証明書
- (3) 出身大学の卒業証明書（卒業見込者は卒業見込証明書）
- (4) 歯科臨床系学科目を志望する者は、臨床研修修了登録証〔写〕（臨床研修修了見込者は臨床研修歯科医修了見込証明書※）

※出願後に研修を修了した者は、速やかに臨床研修修了登録証〔写〕を提出してください。

※出願時に臨床研修歯科医修了見込証明書の提出ができない場合は、出願前にご相談ください。

6. 入学検定料

40,000 円

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）窓口で納入してください。出願書類に現金を封入することや、本学窓口及び他の金融機関による払込みは認めません。

払込み方法は次のとおりです。

- (1) 納入には、本要項添付の本学所定の払込用紙を使用してください。なお、**現金自動預払機(ATM)は使用しないでください。**
- (2) 「振替払込受付証明書(お客さま用)」に受付郵便局日付印のないものは無効となりますので、確認のうえ受取ってください。
- (3) 納入後、受領した「振替払込受付証明書(お客さま用)」は「入学検定料納付証明票」貼付欄に貼付けてください。

※いったん受理した出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。

7. 試験科目・試験時間割

内 容	時 間
受 付	9 : 30～ 9 : 45
出欠調査・問題配付	9 : 45～10 : 00
外国語科目（英語）	10 : 00～12 : 00
出欠調査・問題配付	13 : 00～13 : 15
専 攻 科 目	13 : 15～14 : 15
面 接	14 : 30～

受験についての注意

不正行為の取扱については今後、受験生応援サイトに記載予定です。受験当日までに必ずご確認ください。

- (1) 受験者は、受付時間内に試験場へ入場してください。
- (2) 当日は、受験票、筆記用具、辞書（電子辞書は不可）を持参してください。
- (3) 試験場内では、携帯電話の電源は必ず切ってください。

8. 合格発表

1次募集 2023年 9月22日（金）

2次募集 2024年 3月 1日（金）

- (1) 本学受験生応援サイトに合格者の受験番号を掲載します（当日 10 時 00 分より）。
<https://support.tsurumi-u.ac.jp>
トップ画面上の「お知らせ」に表示される「合格発表について」をクリックして、該当する入試の合格発表リンクよりご覧いただけます。
- (2) 合格者には、「合格通知書」及び入学手続書類をレターパックプラスにて発送します。
（郵便局員が直接対面で配達します。なお、発表当日に差出しますので、合格者の手元に届くのは発表日の翌日以降となる予定です。）

※電話による合否の問合せには応じません。

9. 入学手続

- (1) 合格者に対して「入学手続要項」を郵送しますので、手続方法の詳細はこれに従ってください。
- (2) 入学手続締切日
1次募集 2023年10月 5日（木）
2次募集 2024年 3月14日（木）
- (3) 入学手続きに当たっては、在学契約として、入学予定者、連帯保証人連署による「在学誓約書」及び「個人情報の取り扱いに関する同意書」を提出していただきます。

10. 長期履修制度について

制度の概要

この制度は、歯学研究科において、時間的な制約等がある人に対して負担軽減を図り、柔軟な学習機会を提供することを目的としており、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限(博士課程 4 年)を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することを希望し申出たときは、審査のうえ長期履修を認めるものです。

詳細については入試センターにお問い合わせください。

11. 学納金等

2024年度の学納金（学生納付金等）は次のとおりです。合格者は「入学手続要項」により所定の手続きを行うとともに、下記の学納金等を入学手続締切日までに納入してください。

学生納付金

項 目	納入金額	備 考
入 学 金	300,000 円	入学時のみ
授 業 料	700,000 円	年 額 （前期・後期の2回に分けて納入）※ただし年額一括納入も可
施設設備費	300,000 円	入学時のみ （前期・後期の2回に分けて納入）※ただし年額一括納入も可
合 計	1,300,000 円	

下記の諸費を代理徴収します。

項 目	納入金額	備 考
学生総合保険料	3,000 円	年 額 ※変動の可能性があります。

入学手続時納入額

年 額 納 入 の 場 合	1,303,000 円
前期分を納入の場合	803,000 円

（1）入学金・諸費以外は2回に分けて納入することができます。

（2）本学卒業生は、施設設備費を全額免除します。

12. 奨学金制度

次の奨学金制度があります。

- （1）本学奨学金・・・毎年度、若干名に対して大学独自の奨学金を給付します。（4年生対象）
- （2）日本学生支援機構奨学金（貸与）
- （3）森田奨学育英会（給付）（4年生対象）
- （4）その他の奨学金・・・地方自治体並びに民間育英事業団体等

13. 照会および出願書類受付場所

＊入学試験については下記までお問合せください。

鶴見大学 入試センター（1号館1階）

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3

電話番号 045-580-8219・8220

本学試験会場案内図

※試験場の下見などのために
校舎内に入ることとはできません。

【周辺のホテル】

- ① ホテルリブマックスBUDGET横浜鶴見
- ② 東横イン横浜鶴見駅東口
- ③ ベストウェスタン横浜
- ④ ホテルメッツ横浜鶴見
- ⑤ ホテルテトラ鶴見



- [交通] ●JR 京浜東北線「鶴見駅」西口より徒歩5分
●京浜急行線「京急鶴見駅」西口より徒歩7分
曹洞宗大本山總持寺境内入口…*

本学ホームページでも、案内図をご覧ください。携帯電話・スマートフォンはこちらから→



※入学試験に関する個人情報の取扱いについて

本学では、入学試験志願票に記載いただいた氏名・連絡先等に関する情報、また、成績証明書等の個人情報は、厳重に取扱い、入学者選抜以外の目的に使用することはありません。

お 問 合 せ 先

鶴見大学 入試センター

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

電話番号 045-580-8219・8220

[受付時間] 平日 9 : 00 ~ 16 : 00

土曜 9 : 00 ~ 12 : 00